

令和元年度（2019年度）第1回 函館市企業局経営懇話会 会議録

【開催日時】 令和元年10月2日（水） 午前10時00分～午前11時30分

【開催場所】 函館市企業局4階大会議室（アクロス十字街）

【次第】

- 1 開会
- 2 企業局長あいさつ
- 3 企業局管理職紹介
- 4 報告事項
 - (1) 平成30年度（2018年度）企業局各会計決算について
- 5 議事
 - (1) 函館市上下水道事業経営ビジョンおよび函館市交通事業経営ビジョンの進行管理について
- 6 その他
 - (1) 函館水道創設130周年記念事業について
 - (2) 日本水道協会令和元年度全国会議について
- 7 閉会

【出欠状況】

■委員（出席11名）

（○は出席，敬称略）

所属団体	氏名	出欠	所属団体	氏名	出欠
公立はこだて未来大学	木村 健一	○	連合北海道函館地区連合会	樋口 信一	○
函館地域産業振興財団	三浦 汀介	○	函館市恵山地域審議会	斉藤 勝昭	○
北海道税理士会函館支部	川田 博仁	○	函館商工会議所	竹内 正幸	—
北海道電力株式会社送配電カンパニー函館支店	樫原 一朗	—	函館水産連合協議会	吉村健太郎	○
函館市社会福祉協議会	佐藤 秀臣	○	函館地区バス協会	渡部 浩典	○
函館市女性会議	佐々木 香	○	函館湯の川温泉旅館協同組合	大桃 誠	—
函館市町会連合会	木村 鶴一	○	一般公募	佐藤 好子	—
函館消費者協会	森元 浩	—	一般公募	山本 秀治	○

■事務局（出席管理職22名）

田畑企業局長

- ・ 管理部 川村部長，成澤次長，細越総務課長，臼杵事業推進担当課長，高木経営企画課長，田中経理課長，木村料金課長，伊藤収納・滞納整理担当課長
主査5名（経理課主査2名，経営企画課3名）
- ・ 上下水道部 加保部長，金野次長，米田管路整備室長，濱坂業務課長，川村計画・管路担当課長，丹内維持管理担当課長，鈴木温泉等担当課長，加地浄水課長，船山終末処理場長
- ・ 交通部 大久保部長，高坂次長，岩田事業課長，廣瀬施設課長

【会議発言概要】

1 開会

経営企画課長

これより令和元年度 第1回 函館市企業局経営懇話会を開会します。

2 企業局長 あいさつ

企業局長

本日は、大変お忙しい中ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。改めまして、5月23日付け企業局長に就任いたしました田畑でございます。どうぞよろしくお願いたします。

経営懇話会開催にあたりまして、一言、ご挨拶させていただきます。企業局で運営している、水道、公共下水道、交通の3事業は、市民生活や社会活動を支える重要なインフラでありまして、安全で快適なサービスを提供する使命を担っております。

本市においては、人口減少が進んでおりまして、これに伴う水需要や電車利用者の減少によって、料金収入が減少傾向にあるとともに、老朽化した施設や設備の更新などに要する費用が増加している状況から、各事業を取り巻く環境は厳しさを増しております。

このような中、企業局では経営懇話会の委員の皆様からご意見を頂戴しながら、平成28年度に策定しました、10年間を計画期間とする「上下水道」、「交通事業」経営ビジョンに基づきまして、健全な経営のもと施設の質的な向上を図るため、各種施策を実施しているところです。

本年は、日本で2番目の近代水道であります函館水道が、創設130周年を迎え、市民の皆様には水道事業について理解と関心、興味を深めていただくことを目的として、各種記念事業を実施しており、さらに11月には「日本水道協会 令和元年度全国会議」が函館アリーナや近隣のホテルで開催され、令和のスタートは函館水道にとっても、新たなスタートの年となっております。

水道のみでなく、公共下水道、交通事業につきましても長い歴史がありますが、いずれも先人が築き上げた各事業のシステムを次世代につなげていく必要があります。

委員の皆様におかれましては、当局の事業について、一層のご理解をいただきたく、経営ビジョンに基づく取組状況などについて、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

3 企業局 管理職紹介

経営企画課長

(新たに就任した4名の管理職を紹介)

4 報告事項

経理課長

(1) 平成30年度企業局各会計決算について

〈資料1説明〉

――― 質疑応答 ―――

川田委員

ニモカのお金の流れのシステムについて教えていただきたい。
カード1枚500円の預かり金があるほかに、料金収入が色々なところから入って

きます。その一方でそれに見合う支出があると思いますが、概略だけで結構ですのでシステムについて教えてください。

廣瀬施設課長

具体的な例を挙げて説明したいと思います。まず、お客様がニモカのカードを購入します。2千円で購入いただきますが、一旦、預かり金として処理しまして、全額、株式会社ニモカにお支払いします。企業局の方では、例えば市電にニモカを使って乗車していただいた210円がニモカから決済されます。そのデータで企業局からニモカへ請求するという形になります。

なお、それぞれ手数料が付きますので、私共が一旦お預かりしてニモカにお支払いする際、チャージ額の0.1%を企業局が受け取っております。

それから、運賃として210円、カードから決済した分、これは企業局がニモカに請求しますが、その際ニモカでは1.5%の手数料を差し引いて企業局に支払う、このような流れになります。

5 議事

経営企画課長

(1) 函館市上下水道事業経営ビジョンおよび函館市交通事業経営ビジョンの進行管理について

〈資料2説明〉

――― 質疑応答 ―――

質疑なし

〈資料3, 4説明〉

――― 質疑応答 ―――

質疑なし

三浦会長

ただいま事務局から報告がございましたが、本件につきまして各委員からご質問等ございましたら、よろしくお願ひします。

前回に比べて資料が分かりやすく整理されていて、よく理解できた気がします。皆さんはいかがでしょう。

山本委員

下水道の水洗化工事についてですが、以前、水洗化を普及するために補助金制度があったと思うのですが、現在はどうなんですか。

木村料金課長

水洗化工事の貸付金制度は現在も実施しております。

三浦会長

今回初めて評価「A」がありました。これについては、長年委員を務めてきた中で大変嬉しく思っています。どんな分野でもいいので、こういう評価がありますと、懇話会を開催するにあたって、やりがいを持つ次第であります。

最近、千葉県でも災害が発生しましたが、近年、災害の危険度は増しています。そのような際、企業局の仕事は大きく関わりますので、何かあった時、迅速に対応できる心構えや体制を作ることが大事だと思います。

今回の資料は、その内容が展開されていますが、今後に向けてそういった分野を充実していただけるとありがたいと思っております。

三浦会長

ほかに何かありませんか？

佐藤副会長

資料3の3ページ「信頼される事業運営」で、小学生向けに6校311名に対し施設見学会を開催したとありました。

このいきさつを伺いたいと思うのですが、企業局側から来ませんかと誘っているのか、学校側から見学したいと依頼があるのか、発想の順番について伺いたい。

また、記載の見学会以外にも何かあれば、教えていただきたい。

それから、前のページに温泉の安定供給という項目があり、温泉資源保護のためと記載されています。最近、特に駅前地区などにホテルがたくさん建設されておりまして、大きな温泉があるようです。企業局の管理と違うかもしれませんが、函館全体の温泉の供給に影響があるのか、市民として心配しているところですので、分かることがありましたら、教えていただきたい。

(施設見学会)

経営企画課長

小学生向けの上下水道施設見学会は、5～6月に企業局から各小学校に施設見学会があるので参加しませんかという案内文を送付しておりまして、予算の都合上、6校程度と決めて実施しております。

これに漏れた小学校につきましては、直接、浄水場や終末処理場にご連絡いただくと、見学は可能となっております。

その違いは、6校の施設見学会ではバス代を局で負担しますが、それ以外では自分達で行っていただくのが違いとなっております。参考に平成30年度の一般施設見学者は、赤川浄水場で706名、旭岡浄水場で401名、元町配水場で43名、南下水終末処理場で484名、流域浄化センターで324名、全体で1,958名の見学者が記載以外にもあったところです。

(温泉の安定供給)

上下水道部長

旧函館市内に限定して説明させていただきますが、地下熱が地下水を熱して温泉供給という形になっておりまして、旧市内では3つの系統に分かれています。

ひとつが、銭亀沢系で海底の中に火口があり、そこが泉源となっております。企業局が管理しています湯の川地区は、基本的には銭亀沢の系統となっております。

また、先ほどご質問にありました駅前周辺ですが、そちらは横津の系統となっております。もうひとつ、谷地頭の方にも函館山の火山活動があったようでして、それを熱源としている系統、合わせて3系統に分かれているところでもあります。

これは、北海道の地質研究所に企業局から調査依頼をしまして、提出された資料から説明させていただきました。

今申し上げたとおり、系統が分かれていますので、直接的に湯の川と駅前が関わりを持つことはないと考えております。

また、駅前で温泉施設を有したホテルが建設されていますが、新たに温泉を掘削した場合、500mの範囲内にある既存の温泉への影響を調査をしまして、その資料を函館市であれば保健所が窓口となり、北海道に提出し、北海道で開かれる審議会で審査を受け、影響が無い場合に許可が出されるという状況ですので、駅周辺でホテルがお互いに干渉することはないと考えております。

木村(健)
副会長

交通事業の経営ビジョンに関して細かい話になりますが、ICカードシステムの活用の部分で、10月1日から増税となりましたが、ICAS-nimocaは買い物の際に交通系ICカードとしてそのままポイント還元になるカードです。

交通系ICカードの種類によっては、ポイント還元する手続きが必要だったり、そもそも対象になっていないものもあり複雑です。

高齢者の方もICAS-nimocaをお使いになっているようですから、もっと一般店舗でも使っていただけるような広報活動をどのくらい行っているのか。どんどん普及させた方がいいと思いますので、そのあたりの取組についてお尋ねしたい。

岩田事業課長 ひとつの例を挙げますと、ICAS-nimocaを使用できる店舗の拡大ということで、11月になりますとシエスタ函館さんの方で扱っていただく予定となっているなど、商業系の開拓も始まっています。
私共としては、それのお手伝いをするくらいしか出来ませんが、色々な店舗に働きかける機会があれば、さらに伝えてまいりたいと思っております。

三浦会長 ほかにどなたかご質問あるでしょうか。

それでは、ご質問等が無いようですので、本件につきましては終了します。
委員の皆様には、お忙しい中で、少しスケジュールがタイトではございますが、各経営ビジョンの進行管理に係るご意見を提出していただきたく、よろしくお願い申し上げます。
また、本日の報告等で、改めて疑義が生じた場合など、事務局で質問を受け付けるということなので、ご質問等がございましたら、事務局のほうに連絡をお願いします。

6 その他

経営企画課長 (1) 函館水道創設130周年記念事業について

〈資料5説明〉

事業推進担当課長 (2) 日本水道協会令和元年度全国会議について

〈資料6説明〉

三浦会長 ただいま事務局から報告がございましたが、本件につきまして各委員からご質問等ございましたら、よろしくお願いします。

――― 質疑応答 ―――

質疑なし

ご質問等が無いようですので、本件につきましては終了します。

その他、全体を通して各委員から何かございますでしょうか。

佐々木委員 2点ほど教えていただきたい事があります。

まず、ひとつめですが、下水のデザインマンホールのカードが、大変人気と聞いておまして、日本全国でそのカードを集めるマニアの方たちが、色々な箇所に訪れているとテレビで見ました。

函館市でもそのカードを配付しているのか教えていただきたいです。

もうひとつが、今週土曜日に私たちが主催で開催します女性防災講座の講演にお越しいただく加藤（日本トイレ研究所代表理事）さんが、昨年講演に来ていただいた際に、「函館市にマンホールトイレの設置場所はありますか」という質問があったのに対し回答できませんでしたので、函館市で既に整備されているのか教えていただきたいです。

経営企画課長 (マンホールカード)
函館市は、マンホールカードを作成しておりまして、隣のまちづくりセンターで配布しています。イカをモチーフにしておりまして、昨年度は1年間で5,400枚、2年間では10,900枚配布しております。

維持管理担当課長 (マンホールトイレ)
函館市内には、マンホールトイレ専用のマンホールを設置しておりませんが、マンホールトイレは、汚水管のマンホール全てに設置可能ですので、状況に応じて使用することが可能です。
企業局では、3基マンホールトイレを所有しております。

佐々木委員 その3基のマンホールトイレの設置が想定されるのは、どの場所ですか。

維持管理担当課長 想定している場所は、南部下水終末処理場の施設内ですが、被災の状況によっては、下水道本管が使用可能で避難所に近い場所での設置を考えております。

佐々木委員 昨年講演で、実際にマンホールトイレを設置する予定となっている場所の写真をを見せていただいた際に、災害があった場合、公園などですぐその場でマンホールトイレを設置できる形に最初から作られていました。
南部下水終末処理場での設置を想定しているとの事ですが、その場所では避難時の開設が難しいと思いますので、その場所までトイレを使うためにわざわざ行かなくてはならない状況だとすると、函館市でもし災害が起こった時に、避難所の近くにマンホールトイレが設置されないと非常に大変なことになると想像されるので、もう少し市民の方が使いやすい場所に設置可能な場所、例えばこういうところに設置できますよ、というようなお知らせマップみたいなものを総務部で作っているものに併せて載せていただくような工夫をしていただけないかなと思います。

維持管理担当課長 先ほどは説明不足だったかもしれませんが、基本的にマンホールトイレは、既存の下水道マンホールの上に設置できます。どのマンホールの上にも設置できますが、災害の状況次第では、幹線が使用できない場合もありますので、その状況に応じて設置していきたいと考えております。

三浦会長 佐々木委員よろしいでしょうか。

佐々木委員 はい。

三浦会長 会議の運営についてですが、マイクの調子が前回と同様に悪いので、本数は少なくなっても、正常なマイクだけで行っていただきたい。
毎回、議事の進行が止まるので、事務局よろしく願います。

経営企画課長 分かりました。

三浦会長 それでは、ご発言無いようですので、本日の会議日程は以上となります。進行を事務局にお返しします。

7 閉会

経営企画課長 以上で、本日の日程はすべて終了となりますが、本日の会議録につきましては、この後、事務局にて案を作成し、後日、各委員に郵送させていただき、ご確認いただく形で作成してまいりたいと考えておりますので、よろしく願います。

また、各委員のお手元に、平成30年度の事業概要を配付させていただきました。お荷物になるとは思いますが、お帰りの際はお持ちくださいますよう、よろしく願いいたします。

以上で、令和元年度第1回函館市企業局経営懇話会を閉会します。長時間ありがとうございました。